

こども食堂のコミュニティサイト 地域のたすけあいを活性化するサイトUI

Community Website for Children's Cafeterias

遠藤菜月

指導教員 江南仁美

サレジオ工業高等専門学校、デザイン学科、視覚伝達デザイン研究室

キーワード：こども食堂、インターネット、地域コミュニティ

1. 研究目的

近年「こどもの貧困」が問題になっており、民間による解決策として、ボランティアが運営する「こども食堂」が話題に上ることが増えた。こども食堂とは、主に地域のこどもをターゲットにした無料または安価で食事できる場所のことであり、こどもの貧困が社会的な問題になりはじめた2010年代ごろ使われるようになった、比較的新しい言葉である。しかしコロナ禍を経てなおその数は増え続けており、2022年認定NPO法人全国こども食堂支援センター「むすびえ」による調査ではその数は全国で7363箇所となった。

5年ほど前から、家族が八王子の柚木地域にて「ゆぎのや」というこども食堂の運営に携わっており、民間の手で福祉を行うことの難しさを度々語っている。私自身も食堂のランチョンマットなどのデザインに協力してきた。



図1 こども食堂のランチョンマット



図2 こども食堂のロゴデザイン

こども食堂「キッチンゆぎのや」をモデルとし、利用者のニーズに合わせてよりよくこども食堂を運営するためのデザインを考案する。

2. 調査内容

①運営者への聞き取り調査

食堂の運営を行っている家族に、問題に感じていることについてインタビューを行った。第一に上がったのが「コミュニケーションの難しさ」だった。自由に使える場所や機材がなく市民会館に場所を借りているため、利用者やスタッフとのやり取りが普段はあまり行えない。利用者の求めている活動を知る機会も少なく、スタッフ間で方向性が食い違うこともあるという。

②こども食堂利用者へのアンケート調査

「キッチンゆぎのや」の利用者に公式 SNS からアンケートを配布し、25人からの回答を得た。「食堂に今後期待すること」という項目には、リサイクル品の提供やフリーマーケット、地域や近所の人との交流など、コミュニティとしての役割を期待するものが多くあった。

また「最近生活で困っていること」という項目で

は、物価高や育児の悩み、生理用品の不足などといったことまで、様々な悩みが寄せられた。

3. コンセプト

アンケート調査を分析すると、こども食堂の役割としては貧困家庭の救済というだけでなく、地域コミュニティの代替として機能しており、その需要も高いことがわかる。特に「キッチンゆぎのや」では立地や開催頻度の問題から 20~50 代の子育て中の女性がメインターゲットとなっており、子育てや生活の悩みを共有したいという希望も多く聞かれた。しかし運営の観点に立つと、場所や資源や人手の問題で、利用者との密なコミュニケーションを行うことが難しい現状がある。

地域コミュニティにとって最も重要なのは、お互いの顔が見えるアナログ的な側面である。一方で、食堂の告知は主に公式 SNS を通じて行っており、現在食堂のメインターゲットとなっている子育て世代にとってもインターネットは身近である。インターネットを利用することによって、場所や資源に縛られないコミュニケーションを行うことができ、より利用者の需要に寄り添った支援を行うことが可能になるのではないかと考えた。

食堂を利用しているなかには、ひとり親世帯や不登校児・障害児のいる家庭など様々な事情を抱えた家庭がある。いわゆる普通の家庭であっても、抱えている悩みを共有できる環境は重要である。同じ地域で子育てをする人たちと助け合い、支援の手を差し伸べる人にもつながることができる、そうした仕組みが一つでも増えることで、こどもが健やかに育つことができる社会の一助となることに期待する。

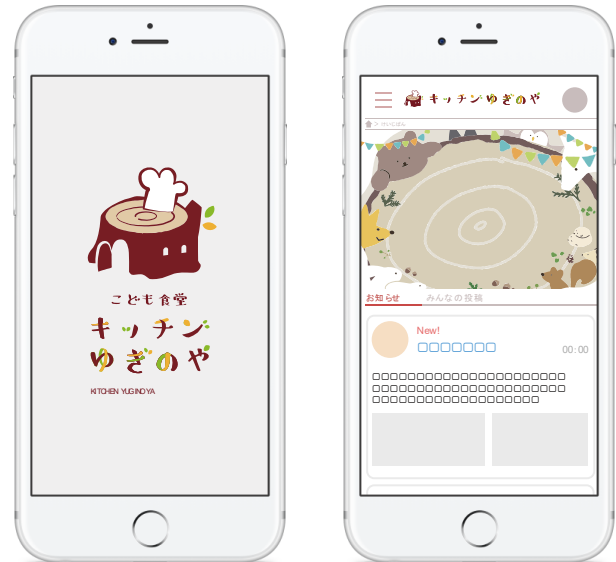
4. 最終提案物について

食堂運営者と利用者、または利用者同士のコミュニケーションを活性化させるためのサイト UI を提案する。食堂運営者から活動の告知や活動記録を発信できるほか、利用者からは食堂の予約やフィードバックができるなど、相互に発信を行うことができる環境をサイト上に構築することを目的

とする。

また、UI 制作においても「画面の向こうに人がいる」ことを感じられるようなあたたかい印象を与えることを目指す。

図 3 コミュニティサイトのイメージ



5. 今後の展開

グラフィックツールを用いて UI の作成を行ったのち、実際の食堂利用者の協力を得て試用を行い、ターゲット層にとってどのような印象が得られるものであるかを調査することを目指す。

6. 参考文献

- ・認定 NPO 法人 全国こども食堂支援センター
むすびえ

<https://musubie.org> (2023/10//13:00)